

政策カルテ

1. 政策の位置づけと目標

		主管課	スポーツ振興課
政策の柱	Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために	取組の基本方向	「生涯にわたるスポーツ活動を促進する」ため、市民が自分に合ったスポーツに親しむための「スポーツ活動環境の充実」、より効果的にスポーツ活動を促進するための「スポーツを支える人材の育成、団体の活性化」に、重点的に取り組めます。
政策名	4 生涯にわたるスポーツ活動を促進する	政策目標	市民それぞれの目的に応じた自主的・継続的なスポーツ活動が活発化し、暮らしの中にスポーツがより深く浸透しています。

2. 政策を取り巻く環境と進捗状況

① 政策を取り巻く環境	国・県等の動向	<p>少子高齢化の進行や地域コミュニティの希薄化などに伴い、健康づくりや生きがいづくり、地域における連帯感の醸成など、スポーツの果たす役割は益々増大しており、国においては、平成12年9月に「スポーツ振興基本計画」（平成18年9月改定）を策定し、スポーツの振興を通じた子どもの体力向上や地域におけるスポーツ環境の整備充実方策などを主要な課題として掲げている。</p> <p>また、県においても「とちぎスポーツ振興プラン21」を策定し、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しめる環境を整備することを目指している。</p>	<p>② 構成する施策に関する市民意識調査結果</p> <p>【凡例】 1. スポーツ活動環境 ◆ 2. 人材育成, 団体活性化 ▲</p>	③ 政策の進捗状況	政策指標(単位)	H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	進捗状況(%)
	指標① (総合計画に基づく指標)	ライフスタイルに応じて、自分に合ったスポーツ活動ができていると感じている市民の割合			30.0	30.2	28.4			40.0	71.0%	
外部意見その他	<p>市議会からは、地域スポーツクラブの育成(21年12月)や市体育館の早期整備(21年6月)、プロスポーツチームの支援(21年6月)、ジャパンカップサイクルロードレースの充実(21年9月)などについて、一般質問等により指摘を受けている。</p> <p>また、体育指導委員の活用策(17年3月)やスポーツを支える人材の育成(19年12月)についても、一般質問により指摘されている。</p>											

3. 政策の評価

④ 現状と課題の分析	成果が見られる点	<p>政策を構成する施策である「スポーツ活動環境の充実」、「スポーツを支える人材の育成、団体の活性化」の施策の指標は基準年と比較し、着実に上昇している。</p> <p>スポーツ情報システムの構築、スポーツ広場整備補助金の創設などにより、「生涯にわたるスポーツ活動を促進する」ための環境が整いつつある。</p>	⑤ 今後の取組方針	総論	<p>スポーツは、子どもの体力向上や健全育成、高齢者の健康の保持増進、生きがいづくりに寄与するなど、市民が心豊かで健康的な生活を送るうえで重要であり、引き続き、市民のスポーツ活動環境の充実とスポーツを支える人材の育成に努める必要がある。多くの市民が自分に合ったスポーツ活動ができるようにするために、民間との役割分担に配慮したうえで、特に市民に身近な地域で気軽にスポーツが続けられる場所や機会などの環境の充実に取り組む。</p>
	改善の必要な点	<p>政策指標は前年度と比較し減少しているが、市民の週1回以上のスポーツ活動実施率は上昇している。</p> <p>これは、これまでの地域スポーツクラブの育成やスポーツ広場整備補助金などの事業が有効であると考えられることから、引き続き、身近な場所でスポーツに親しめる環境を充実する必要がある。</p> <p>また、スポーツの大切さや意義についても積極的に情報発信していくことが重要である。</p> <p>さらには、スポーツ施設が全体的に老朽化していることから、効果的な対応が必要である。</p>		重点施策	<p>生涯スポーツの振興、施設の有効活用の観点から、子どもや高齢者が利用しやすい仕組みづくりを進めるとともに、スポーツの場の提供を充実させる。</p> <p>また、地域スポーツクラブの積極的な推進やスポーツ情報システムの活用により、スポーツが市民にとって日常的で身近なものとなるよう努めていく。</p> <p>さらには、スポーツ施設のあり方について検討していくとともに、計画的に改修を行う。</p>

4. 政策を構成する施策一覧

No.	施策名	施策の達成状況				進捗状況	施策の二次評価		市民の意識	
		施策の指標(上段:総合計画に基づく指標) (下段:その他の指標)	H19:基準	H21	H24:目標		満足度	重要度		
1	スポーツ活動環境の充実	20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ活動実施率(%)	31.4	37.8	44	85.9%	総論	市民が自分に合ったスポーツに親しむため、地域スポーツクラブの設立・運営を積極的に支援し、各種スポーツ大会・教室の充実や老朽化するスポーツ施設の計画的な整備・修繕に取り組むことなどにより、市民のスポーツ活動実施率を増加させていく。	31.3%	48.2%
							重点事業	ジャパンカップサイクルロードレースについては、これまでのレースに加え、新たに中心市街地におけるレース(クリテリウム)を開催する。		
							見直し事業	スポーツ大会開催事業補助金については、対象とする大会は減少しており、県と連携し廃止する。また、今後のスポーツ施設のあり方について検討していく。		
2	スポーツを支える人材の育成、団体の活性化	スポーツ指導者の登録者数(人)	541	743	835	89.0%	総論	効果的にスポーツ活動を促進するため、スポーツに関する総合的なホームページ(U-Sports)を活用するなど、スポーツ指導者の登録者数を増加させていく。	24.0%	41.6%
							重点事業	新たなスポーツ指導者の発掘と活用を進め、市民が身近な地域でスポーツに取り組めるよう努める。		
							見直し事業	上河内、河内地区の体育協会については、宇都宮市体育協会との統合を図り、上河内・河内体育協会への補助は廃止する。		